

読書のすゝめ

その 33

H 30

2 / 26

30年度県東地区生徒図書委員会 課題図書

来年度（6月頃）鹿島高校で開催される、県東地区生徒図書委員会での読書会用課題図書3冊が決まりました。担当校と作品を紹介します。

- ① 『顔ニモマケズ』水野敬也・・・鹿島高校
- ② 『ストロベリーライフ』萩原浩・・・鹿島灘高校
- ③ 『うたうとはちいさないのちひろいあげ』村上しいこ・・・神栖高校



『顔ニモマケズ』水野敬也（文響社）

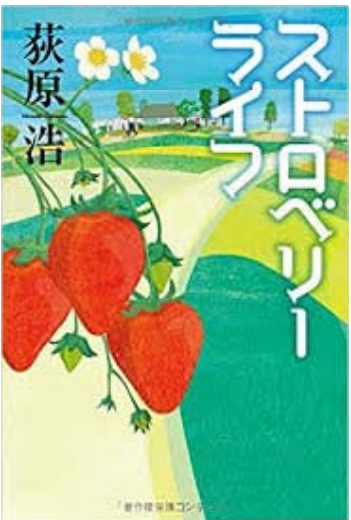


顔ニモマケズ

このような問題を抱えている人にとって、生きるヒントを与えてくれます。

- 年齢を重ねることで自分の魅力が失われているんじゃないかと不安になっている人
- 「人からどう思われているか」が気になってしまう人
- 周囲の人間関係に悩んでいる人
- 就職や仕事のことでも悩んでいる人
- 恋愛に自信を失っている人
- 自分の欠点やコンプレックスが気になる人
- 他者とのコミュニケーションが苦手な人
- いじめに悩んでいる人
- 外に出るのが億劫で部屋に引きこもりがちになっている人
- 「やりたいこと」や「好きなこと」が見つからない人
- 今の自分の環境や状況を変えたい人
- やりたいことがあるけど勇気がなくて踏み出せずにいる人

『ストロベリーライフ』萩原浩（毎日新聞出版）



恵介は、フリーのグラフィックデザイナー。最近めっきり仕事がないところに、電話が鳴った。仕事の電話かと期待したが、農家をしている実家の母から、父が倒れたという知らせだった。恵介は妻子を置いて実家で姉たちと母を手伝いイチゴの収穫をするうち、昔、農家を継がないことで父と諍いをしたことを思い出した。ああ、あんなに嫌いな農業だったのに…。

『うたうとはちいさないのちひろいあげ』村上しいこ（講談社）



桃子は高校一年生。中学時代に親友だった綾美も同じ高校に入学したが、まもなく不登校になった。それは中学時代に体験した壮絶ないじめが尾を引いているからだ。一方、人数不足の「うた部」（短歌）に思いがけなく入部することになった桃子は綾美に対して、中学時代に起きたある事件の負い目から、高校で友達を作らないという宣言までしてしまう。本当にこのままでいいのか悩み続ける桃子に、ある同級生が声をかけてくる。そしてある日の放課後、うた部で短歌甲子園に出場しようという話が持ち上がって…

※ 3冊とも図書館にありますので、ぜひ読んで読書会に参加してみませんか？

※ 3月は自宅学習の日が多くなります。一年間の学習のまとめとともに「本」を読み、自分と向き合ってください。